厭蝕太平樂記

へ13
3553
3

門へ13
3553
巻 3

一願証寺事記　巻下三

一願証寺事

一願証寺并願証寺真田経之事

一伊豆守事

一後水尾院御即位之事

一光頼公一事之御礼之事

早稲田大学図書館
3311.10
和漢書

有孫登之風
晉書曰阮籍嘯聞數百步
晉陽秋曰阮籍嘯聲遠聞
晉中興書曰嵇康善彈琴
晉陽秋曰嵇康善彈琴
晉書曰嵇康善彈琴
晉陽秋曰嵇康善彈琴
晉陽秋曰嵇康善彈琴
晉陽秋

のこもろ〳〵おのこゝろ
一ぱいなれどもそのこゝろ
をことばにあらはしつくすこと
かたくまたことばをつくしても
一通りにはつくしがたきもの
なれば知ぬ人にはなほさらつた
へがたきことわりなり仍てこゝ
一通の手紙文にてその人の情をおもひ
みるべきなり
つまりわれのこゝろをしらるゝ
ものはわれのこゝろをしらざる
ものゝこゝろをしるべきなり
われ村君をうやまひ親しむ事
まねやあるべきなれど村君
の御いきどほりをうけ給ふ
ことわりなれば村君やわれ
をうやまひ親しむ事まねや
あるべきなれどもわれ村君
をうやまひ親しむこゝろ
はかはらざるなり

改訂の本に肥後守藤原朝臣
進る表の文後の井関白奉頒
この書遍物を捜索
漸く
一冊 一冊 一冊 一冊 一冊
一冊 一冊 一冊 一冊 一冊
一冊 一冊 一冊 一冊 一冊

一門榮花

一 白銀 壱枚 御書判

一 白銀 弐枚

一 紅花 弐斤

一 干鰯 弐百俵

一 小刀 弐腰

一 小刀 弐腰

一 右之内毛利并家中之知行
遣わすにより御判を
乱紙候間、
一 小刀 弐腰
一 右之内肥後守
御書判
一 右之内清正
御判并家中
之知行遣わす
ニより御書判
之